

学校再編・保幼小中一貫教育に関する保護者説明会 質疑応答要旨(令和2年8月29日午後の部)

※質問・回答とも要旨を記載しております。
※本説明会の趣旨に関係するもののみ掲載しております。

項目	No.	種別	質問内容	回答内容
4 3 2 制	301	質問	小1プロブレム、中1ギャップが解消されるということだが、小5で中学校に移動して、授業も50分授業になり、そこで問題は起こらないのか。また、なぜいじめや不登校がなくなるのか。	いきなり50分授業にするのではなく、徐々に切り替えていきます。例えば2学期の途中から、50分授業を導入していくことなどを考えています。 いじめや不登校はいつでもどこでも誰にでも起こるものであり、従来、学級担任1人で見ていたものを、教科担任制の導入により、多くの大人の目で子どもを見ることができ、その情報を共有することで、未然防止・早期解決につなげていく体制づくりを進めようと考えています。
P T A	302	質問	PTA役員はどうなるのか？コミュニティ・スクールが行われても、参加するのは一部の人だけになるのではないか。また親の負担が増えるのではないか？	PTAに関する事項については、今後、開校に向けての会議の中で、規約などを検討します。
学校再編	303	要望	小学校低学年では学校生活に慣れるため、地域の小学校で少人数、今までの慣れた仲間と関わることが子どもにとって良いと考えている。しかし、小学校高学年～中学校段階では、人数が増えることにより、経験できることも増えると思うので、クラブ活動等、東西がまとまって活動できることを検討していただきたい。	東西間の交流については、Web会議システム等も導入し、今後積極的に行います。部活動の東西交流については現在も一部行っていますが、今後も前向きに検討します。
給食	304	質問	小中一貫校になった場合、給食はどうなるのか。	R8年度より、吉川中学校の敷地内に給食室を設置し、東地区にも温かい給食を配送する計画です。R4年度からR7年度については、東地区の小学5・6年生は、今の中学生と同じデリバリー給食を考えています。
教員免許	305	質問	義務教育学校になった場合、小中学校両方の免許が必要と記載されているが、これは先生方全員が両方の免許が必要ということか。また、もしそうであれば、両方の免許を持っている先生の人員確保はできるのか。	基本的には両方の免許を所有していることが条件となりますが、当分の間は小中のどちらかの免許状所有でよいとされています。指導内容等に合わせ、柔軟に対応し、子どもたちの指導に影響が出ないように取り組みます。
こども園	306	要望	学童とこども園を同じ敷地で運営してほしい。	東地区のこども園の場所は現在の所で考えています。学童については、義務教育学校となる東能勢中学校の敷地内に設置する予定です。
東西間の差	307	質問	東西の中学校の学力差がかなり大きいと聞いている。東から西へ引越すする人も何人かいる。同じ町内で大きな差ができるのはなぜか。	学力向上の取組みは町全体で行っています。課題を整理しながら、今後、町の事務局が中心になり、学校、家庭、地域と連携して、学力・体力・心の向上に取り組めます。

東西間の差	308	意見	西地区が1校になり大人数で、東地区は少人数のままだと東が今以上に取り残される。1学年1クラスだと、いじめなどがあると逃げる所がないので、複数クラスのある西地区が良い。	東地区、西地区それぞれのよさを取り入れた教育活動を展開していこうと考えています。また、活動や行事を異学年で班を組んで取り組んだり、東西の交流を活発に行うことで、大規模な学校ではできない経験を積んでもらえるようにしたいと考えています。
高校進学	309	要望	2小2中にする事により、1小1中の時より費用が削減できるのであれば、その分を高校・大学への通学費用に活用できないか。	
高校進学	310	意見	高校がないと子育ての町とはいいいがたい。豊能の田舎に慣れてしまうと都会での高校生活が心配である。	高校の誘致活動や、現役の高校生とのつながりを考えていきます。人口減少に歯止めをかけ、人口増加になれば、バスも増便が考えられます。人口増加に努めていきます。現段階で具体的にお答えすることはできませんが、総合的に取り組みます。
高校進学	311	質問	高校になると、町外に出ていかざるを得ない。バスの定期代も高く、バスの便も減り、帰宅するまで2時間かかることもある。人口流出を防ぐという観点からも、小中一貫校がうまくいった後、高校に通う子どもたちへの支援(定期代の補助等)も考えていただきたいが、そこまでは考えていないのか。	
通学	312	質問	小学校では登校班による集団登校を実施しているが、小中一貫校になった場合それはどうなるのか。	今後、開校に向けての会議の中で検討します。
とよの未来科	313	質問	「とよの未来科」というのはどういうものか知りたい。また、だれがどのように指導するのか知りたい。	「とよの未来科」とは豊能町について学び、その学びで得た経験を活かし、グローバルな視点で「豊能町の未来」のために自分たちでできることを考える、子どもたちが主体的に学習に取り組むことをめざしたものです。教師はもちろん、地域の方々をゲストティーチャーとして招いて指導していただき、地域の教育資源を活用して実施します。
部活動	314	質問	東には東の学校が必要だと思う。しかし、中学校の部活動の選択肢を広げてあげたい。東西で一緒に部活動することはできないか。	部活動の在り方については、今後開校に向けての会議で、検討していきます。部活動の東西交流については現在も一部行っていますが、今後も前向きに検討します。
複式学級	315	質問	複式学級について教えてほしい。	R8年度までは複式学級は行いません。2学年で16人以下になれば、複式学級の対象になる制度がありますが、大阪では単学級が維持されています。小中学校の在り方を検討する目安としては、当該学年だけを見るのではなく、未就学児の人数や町の政策等も考慮して検討します。
放課後	316	要望	今後、教育環境を良くしていきたいということだが、現状の課題(学級の問題、放課後の充実など)については、今すぐ取り組むべき。できることから、良くしていく努力を町・教育委員会として1つでも多く進めていただきたい。学童のことは、今すぐ着手するべきである。教育委員会が直接保護者の意見を聞く場を持った方が良い。	放課後の子どもの安全で安心な居場所づくりを各校の学校支援コーディネーターを中心に実施しています。運営について、地域の方々、若者等、様々な世代の協力を得て運営できる組織作りを進めていきます。課題には、早急に取り組めます。ご意見等があれば、事務局までお知らせください。

放課後	317	質問	小学校の学童保育が充実していないという印象があり、子どもが通うのを嫌がっている。保幼小中一貫教育ということだが、小学校に入学してからの放課後の時間について何かビジョンはあるのか知りたい。	課題には早急に取り組みます。ご意見があれば、事務局までお知らせください。わくわく教室等も、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1学期は実施できていません。2学期以降は可能な範囲で実施していきます。コミュニティスクールになれば、地域の方の力も借りて、より充実させていきたいと考えています。
まちづくり	318	意見	長い目で見れば充実した構想だと思う。しかし、現状どんどん人口も減り、子どもも減っている。準備を進めながら、できることもしていかないと令和8年度の義務教育学校開校までにもっとひどくなる。町として、行政として、豊能町が存続するため、充実するようがんばってほしい。	人口減少、少子高齢化など豊能町の課題に取り組み、持続可能なまちづくりを進めていくために、限りある財源の中ですが、定住の促進、関係人口の増加、若者が住みたくなる子育てしやすい環境づくりや魅力的な子育て施策を考えていきます。また、これからのまちづくりは、行政だけで進めるのではなく、地域の方々と行政が一体となって取り組んでいく必要があると考えています。
その他	319	意見	今日の説明会の内容が現実になるのであれば素晴らしい。	保幼小中一貫教育と地域とともにある学校づくりを進めていきます。
その他	320	質問	今と未来の両方をもう少し詳しく教えてほしい。本日の資料だと、一貫校になって何が良いのかがよく伝わらない。町のためにとっていい方法だということばかりで、子どもにとってどう変わって、どうよくなるのかももう少し教えてほしい。	今回は、現時点で決定したことの概要をお伝えすることを目的に開催させていただきました。今後、具体的なことが決まり次第、ホームページや「豊能の風」、説明会等でお知らせします。
その他	321	意見	子育ての町にするには助成が少なすぎる。	更に若者が住みたくなる子育てしやすい環境づくりや魅力的な子育て施策を考えていきます。